

令和5年度における都内私立学校の児童生徒の問題行動・不登校等の実態

1 調査の概要

本調査は、文部科学省が全国の小学校、中学校、高等学校(全日制・定時制・通信制)及び特別支援学校を対象に、令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)における「暴力行為」、「いじめ」、「長期欠席」及び「高等学校における中途退学者等」等の実態把握のため実施したものである。このうち、東京都内の私立学校分を取りまとめたものは、以下のとおりである。

<調査対象>

私立小学校	55校	(児童数 25,778人)	
私立中学校	187校	(生徒数 81,257人)	休校含む。
私立高等学校	241校	(生徒数 181,926人)	休校含む。
私立特別支援学校	4校	(児童生徒数 204人)	

※ 学校数及び児童生徒数は、令和5年度学校基本調査(令和5年5月1日現在)による。

ただし、「5 私立高等学校における中途退学者数等の状況」については、令和5年4月1日現在の高等学校(全日制・定時制・通信制)の生徒(生徒数 182,053人)が対象である。

2 主な調査結果 ※カッコ内は前年度数値

(1) 私立小学校、中学校及び高等学校における暴力行為の状況 【資料の1(3頁)参照】

令和4年度に比べ、暴力行為の発生件数は、小学校及び高等学校において増加し、中学校において減少している。

暴力行為は、小学校21校で51件(36件)、中学校55校で194件(196件)及び高等学校52校で106件(84件)発生している。

※ 本調査における「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力(目に見える物理的な力)を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって、「対教師暴力」(教師に限らず、用務員等の学校職員も含む。)、「生徒間暴力」(何らかの人間関係がある児童生徒同士に限る。)、「対人暴力」(対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く。)、学校の施設・設備等の「器物損壊」の4形態に分けている。

【問合せ先】

生活文化スポーツ局私学部私学行政課
電話 03-5388-3194

(2) 私立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校におけるいじめの状況 【資料の2(4、5、6頁)参照】

令和4年度に比べ、いじめの認知件数は小学校、中学校、高等学校において増加し、特別支援学校において減少している。

いじめは、小学校34校で447件(385件)、中学校79校で442件(285件)、高等学校65校で173件(136件)、特別支援学校で0件(1件)認知している。

いじめの発見のきっかけとしては、「アンケート調査など学校の取組により発見」が1番多く565件、2番目に「本人からの訴え」176件、3番目に「当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え」167件となっている。

いじめの態様については、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が627件と最も多く、2番目に「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする」269件、3番目「仲間はずれ、集団による無視をされる」246件、となっている。

※ 本調査において、個々の行為が「いじめ」にあたるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとされている。「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」である(いじめ防止対策推進法)。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

(3) 私立小学校、中学校及び高等学校における長期欠席の状況 【資料の3、4(11、13頁)参照】

令和4年度に比べ、長期欠席者数は中学校において増加し、小学校、高等学校において減少している。

令和5年度の長期欠席者数は、小学校で459人(479人)、中学校で3,183人(3,108人)となっている。高等学校は、3,192人(4,112人)で、全日制3,183人(4,088人)、定時制9人(24人)となっている。

※ 本調査における「長期欠席者数」とは、令和5年度間(令和5年4月1日から令和6年3月31日までの1年間)に「病気」、「経済的理由」、「不登校」等により連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒をいう。

(4) 私立高等学校における中途退学者数等の状況 【資料の5(15、16頁)参照】

令和4年度に比べ、退学となった生徒数は全日制及び定時制において増加し、通信制において減少している。

退学者数は3,085人(2,999人)で、全日制は2,848人(2,624人)、定時制は16人(11人)、通信制は221人(364人)である。

(5) 私立小学校、中学校及び高等学校における自殺の状況 【資料の6(16頁)参照】

令和5年度の自殺者数は14人で、小学校は2人、中学校は1人、高等学校は11人である。

1 私立小学校、中学校及び高等学校における暴力行為の状況

(1) 暴力行為の発生状況

項目 校種	学校総数(校) A	発生学校数(校) B	発生率(%) B/A×100	発生件数(件) C	1校あたりの件数(件) C/A
小学校	55 (55)	21 (10)	38.2% (18.2%)	51 (36)	0.93 (0.65)
中学校	187 (187)	55 (59)	29.4% (31.6%)	194 (196)	1.04 (1.05)
高等学校	241 (241)	52 (45)	21.6% (18.7%)	106 (84)	0.44 (0.35)

※表中の()内は前年度数値

(2) 対教師暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)
小学校	55	5 (9.1%)	7 (0.13)	5 (0.71)
中学校	187	5 (2.7%)	9 (0.05)	9 (1.00)
高等学校	241	6 (2.5%)	6 (0.02)	11 (1.83)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数/発生件数

(3) 生徒間暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)
小学校	55	15 (27.3%)	37 (0.67)	40 (1.08)
中学校	187	48 (25.7%)	152 (0.81)	163 (1.07)
高等学校	241	39 (16.2%)	79 (0.33)	85 (1.08)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数/発生件数

(4) 対人暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)
小学校	55	2 (3.6%)	3 (0.05)	4 (1.33)
中学校	187	4 (2.1%)	7 (0.04)	8 (1.14)
高等学校	241	1 (0.4%)	1 (0.00)	2 (2.00)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数/発生件数

(5) 器物損壊の状況

項目 校種	学校総数 (校)	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童生徒数 (人)
小学校	55	3 (5.5%)	4 (0.07)	3 (0.75)
中学校	187	16 (8.6%)	26 (0.14)	45 (1.73)
高等学校	241	14 (5.8%)	20 (0.08)	18 (0.90)

※表中の()内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、「加害児童生徒数」欄が加害児童生徒数/発生件数

(6) 暴力行為の学年別加害児童生徒数

(単位:人)

項目 校種	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
小学校	3 (5.9%)	2 (3.9%)	9 (17.6%)	17 (33.3%)	6 (11.8%)	14 (27.5%)
中学校	104 (47.5%)	79 (36.1%)	36 (16.4%)			
高等学校	62 (53.4%)	32 (27.6%)	22 (19.0%)			

※表中の()は、該当する加害児童生徒数/加害児童生徒校種別総数×100

2 私立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校におけるいじめの状況

(1) 「いじめ」の認知状況等

項目	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校総数(校)	A	55 (55)	187 (187)	262 (262)	4 (4)	508 (508)
認知学校数(校)	B	34 (27)	79 (77)	65 (53)	0 (1)	178 (158)
認知件数(件)	C	447 (385)	442 (285)	173 (136)	0 (1)	1062 (807)
警察に相談・通報した件数(件)		2 (0)	4 (11)	5 (2)	0 (0)	11 (13)
認知学校率	B/A×100	61.8% (49.1%)	42.2% (41.2%)	24.8% (20.2%)	0.0% (25.0%)	35.0% (31.1%)
1校当たりの件数(件)	C/A	8.1 (7.0)	2.4 (1.5)	0.7 (0.5)	0.0 (0.3)	2.1 (1.6)

※表中の()内は前年度数値

※高等学校においては、全日制校、定時制校、通信制校は1校、全定併置校や通信制併設校等は全日制、定時制、通信制それぞれ1校としている。

(2) いじめの現在の状況

(単位:件)

項目	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
解消しているもの		262 (58.6%)	367 (83.0%)	136 (78.6%)	0 -	765 (72.0%)
解消に向けて取組中	いじめを認知してから3か月以上経過しているもの	25 (5.6%)	35 (7.9%)	16 (9.2%)	0 -	76 (7.2%)
	いじめを認知してから3か月経過していないもの	144 (32.2%)	29 (6.6%)	4 (2.3%)	0 -	177 (16.7%)
その他(他校への転学、退学等)		16 (3.6%)	11 (2.5%)	17 (9.8%)	0 -	44 (4.1%)

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(3) いじめの認知件数の学年別内訳

(単位:人)

学年	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
計		447 (100.0%)	442 (100.0%)	173 (100.0%)	0 (0.0%)	1062 (100.0%)
1年生		79 (17.7%)	213 (48.2%)	78 (45.1%)	0 (0.0%)	
2年生		85 (19.0%)	134 (30.3%)	79 (45.7%)	0 (0.0%)	
3年生		104 (23.3%)	95 (21.5%)	16 (9.2%)	0 (0.0%)	
4年生		76 (17.0%)		0 (0.0%)	0 (0.0%)	
5年生		53 (11.9%)			0 (0.0%)	
6年生		50 (11.2%)			0 (0.0%)	

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

※高等学校(単位制)については、入学年度を1年次として、1年次、2年次、3年次、4年次以上をそれぞれ1年生、2年生、3年生、4年生としている

(4) いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区分	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校の教職員等が発見		323 (72.3%)	272 (61.5%)	70 (40.5%)	0 (0.0%)	665 (62.6%)
内 訳	学級担任が発見	30	34	7	0	71
	学級担任以外の教職員が発見 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	11	9	4	0	24
	養護教諭が発見	0	1	0	0	1
	スクールカウンセラー等の相談員が発見	2	2	0	0	4
	アンケート調査など学校の取組により発見	280	226	59	0	565
学校の教職員以外からの情報により発見	124 (27.7%)	170 (38.5%)	103 (59.5%)	0 (0.0%)	397 (37.4%)	
内 訳	本人からの訴え	33	76	67	0	176
	当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	72	71	24	0	167
	児童生徒(本人を除く)からの情報	9	9	10	0	28
	保護者(本人の保護者を除く)からの情報	10	14	2	0	26
	地域の住民からの情報	0	0	0	0	0
	学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報	0	0	0	0	0
	その他(匿名による投書など)	0	0	0	0	0
計		447	442	173	0	1062

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(5) いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任に相談	203 (45.4%)	248 (56.1%)	105 (60.7%)	0 (0.0%)	556 (52.4%)
学級担任以外の教職員に相談 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	31 (6.9%)	158 (35.7%)	78 (45.1%)	0 (0.0%)	267 (25.1%)
養護教諭に相談	10 (2.2%)	24 (5.4%)	13 (7.5%)	0 (0.0%)	47 (4.4%)
スクールカウンセラー等の相談員に相談	40 (8.9%)	34 (7.7%)	17 (9.8%)	0 (0.0%)	91 (8.6%)
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)	7 (1.6%)	10 (2.3%)	3 (1.7%)	0 (0.0%)	20 (1.9%)
保護者や家族等に相談	362 (81.0%)	109 (24.7%)	40 (23.1%)	0 (0.0%)	511 (48.1%)
友人に相談	14 (3.1%)	44 (10.0%)	29 (16.8%)	0 (0.0%)	87 (8.2%)
その他の人(地域の人など)に相談	0 (0.0%)	3 (0.7%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	4 (0.4%)
誰にも相談していない	7 (1.6%)	13 (2.9%)	2 (1.2%)	0 (0.0%)	22 (2.1%)
計	674 (150.8%)	643 (145.5%)	288 (166.5%)	0 (0.0%)	1,605 (151.1%)

※回答は複数選択可

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(6) いじめの態様

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	280 (62.6%)	255 (57.7%)	92 (53.2%)	0 (0.0%)	627 (59.0%)
仲間はずれ、集団による無視をされる	151 (33.8%)	66 (14.9%)	29 (16.8%)	0 (0.0%)	246 (23.2%)
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする	188 (42.1%)	66 (14.9%)	15 (8.7%)	0 (0.0%)	269 (25.3%)
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	61 (13.6%)	31 (7.0%)	7 (4.0%)	0 (0.0%)	99 (9.3%)
金品をたかられる	38 (8.5%)	32 (7.2%)	9 (5.2%)	0 (0.0%)	79 (7.4%)
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	48 (10.7%)	41 (9.3%)	14 (8.1%)	0 (0.0%)	103 (9.7%)
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	76 (17.0%)	17 (3.8%)	13 (7.5%)	0 (0.0%)	106 (10.0%)
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる	31 (6.9%)	55 (12.4%)	28 (16.2%)	0 (0.0%)	114 (10.7%)
その他	36 (8.1%)	17 (3.8%)	15 (8.7%)	0 (0.0%)	68 (6.4%)
計	909 (203.4%)	580 (131.2%)	222 (128.3%)	0 (0.0%)	1,711 (161.1%)

※回答は複数選択可

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(7) いじめる児童生徒への特別な対応

(単位:件)

区分		校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリング			35 (7.8%)	43 (9.7%)	12 (6.9%)	0 (0.0%)	90 (8.5%)
校長、教頭が指導			38 (8.5%)	111 (25.1%)	31 (17.9%)	0 (0.0%)	180 (16.9%)
別室指導			1 (0.2%)	15 (3.4%)	15 (8.7%)	0 (0.0%)	31 (2.9%)
学級替え			1 (0.2%)	1 (0.2%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	3 (0.3%)
退学・転学	懲戒処分としての退学		0 (0.0%)	2 (0.5%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	3 (0.3%)
	その他		1 (0.2%)	3 (0.7%)	9 (5.2%)	0 (0.0%)	13 (1.2%)
停学			— —	— —	28 (16.2%)	0 (0.0%)	28 (2.6%)
出席停止			0 (0.0%)	0 (0.0%)	— —	0 (0.0%)	0 (0.0%)
自宅学習・自宅謹慎			— —	— —	25 (14.5%)	0 (0.0%)	25 (2.4%)
訓告			2 (0.4%)	26 (5.9%)	10 (5.8%)	0 (0.0%)	38 (3.6%)
保護者への報告			103 (23.0%)	221 (50.0%)	84 (48.6%)	0 (0.0%)	408 (38.4%)
いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導			58 (13.0%)	169 (38.2%)	50 (28.9%)	0 (0.0%)	277 (26.1%)
関係機関等との連携	警察等の刑事司法機関等との連携		1 (0.2%)	3 (0.7%)	3 (1.7%)	0 (0.0%)	7 (0.7%)
	児童相談所等の福祉機関等との連携		2 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)
	病院等の医療機関等との連携		2 (0.4%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.3%)
	その他の専門的な関係機関との連携		1 (0.2%)	3 (0.7%)	2 (1.2%)	0 (0.0%)	6 (0.6%)
	地域の人材や団体等との連携		0 (0.0%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)
計			245 (54.8%)	599 (135.5%)	271 (156.6%)	0 (0.0%)	1,115 (105.0%)

※回答は複数選択可

(8) いじめられた児童生徒への特別な対応

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリング	44 (9.8%)	59 (13.3%)	36 (20.8%)	0 (0.0%)	139 (13.1%)
別室の提供や常時教職員が付くなどして、心身の安全を確保	26 (5.8%)	47 (10.6%)	19 (11.0%)	0 (0.0%)	92 (8.7%)
緊急避難として欠席	1 (0.2%)	8 (1.8%)	5 (2.9%)	0 (0.0%)	14 (1.3%)
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施	2 (0.4%)	3 (0.7%)	4 (2.3%)	0 (0.0%)	9 (0.8%)
学級替え	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.2%)	0 (0.0%)	2 (0.2%)
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応	0 (0.0%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)
児童相談所等の関係機関と連携して対応(サポートチームなども含む)	6 (1.3%)	6 (1.4%)	4 (2.3%)	0 (0.0%)	16 (1.5%)
計	79 (17.7%)	124 (28.1%)	70 (40.5%)	0 (0.0%)	273 (25.7%)

※回答は複数選択可

※表中の()内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

(9) 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

(単位:校)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
職員会議等を通じて、いじめの問題について教職員間で共通理解を図った	48 (87.3%)	128 (68.4%)	162 (61.8%)	2 (50.0%)	340 (66.9%)
いじめの問題に関する校内研修会を実施した	31 (56.4%)	63 (33.7%)	83 (31.7%)	0 (0.0%)	177 (34.8%)
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	43 (78.2%)	131 (70.1%)	112 (42.7%)	3 (75.0%)	289 (56.9%)
児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同士の人間関係や仲間作りを促進したりした	28 (50.9%)	74 (39.6%)	72 (27.5%)	1 (25.0%)	175 (34.4%)
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った	42 (76.4%)	140 (74.9%)	183 (69.8%)	3 (75.0%)	368 (72.4%)
教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った	19 (34.5%)	66 (35.3%)	82 (31.3%)	1 (25.0%)	168 (33.1%)
学校・警察連絡員の指定を行った	6 (10.9%)	26 (13.9%)	32 (12.2%)	0 (0.0%)	64 (12.6%)
学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民に周知し、理解を得よう努めた	13 (23.6%)	54 (28.9%)	69 (26.3%)	0 (0.0%)	136 (26.8%)
PTAなど地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	3 (5.5%)	5 (2.7%)	8 (3.1%)	0 (0.0%)	16 (3.1%)
いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った	7 (12.7%)	36 (19.3%)	44 (16.8%)	0 (0.0%)	87 (17.1%)
インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対処のための啓発活動を実施した	23 (41.8%)	110 (58.8%)	125 (47.7%)	1 (25.0%)	259 (51.0%)
学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った	31 (56.4%)	90 (48.1%)	107 (40.8%)	0 (0.0%)	228 (44.9%)
いじめ防止対策推進法第22条に基づき、いじめ防止等の対策のための組織を招集した	25 (45.5%)	69 (36.9%)	80 (30.5%)	0 (0.0%)	174 (34.3%)
計	319 (580.0%)	992 (530.5%)	1,159 (442.4%)	11 (275.0%)	2,481 (488.4%)

※回答は複数選択可

※表中の()内は、該当する校数/校種別学校総数×100

(10) いじめの日常の実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法について

(単位:校)

区分	校種	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		
		いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	
アンケート調査の実施		28 (50.9%)	10 (18.2%)	67 (35.8%)	60 (32.1%)	55 (21.0%)	103 (39.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	150 (29.5%)	173 (34.1%)	
実施 頻度	年1回	2 (3.6%)	4 (7.3%)	22 (11.8%)	18 (9.6%)	19 (7.3%)	40 (15.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	43 (8.5%)	62 (12.2%)	
	年2～3回	21 (38.2%)	5 (9.1%)	41 (21.9%)	42 (22.5%)	33 (12.6%)	62 (23.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	95 (18.7%)	109 (21.5%)	
	年4回以上	5 (9.1%)	1 (1.8%)	4 (2.1%)	0 (0.0%)	3 (1.1%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (2.4%)	2 (0.4%)	
	調査 方法	記名式	20 (36.4%)	9 (16.4%)	38 (20.3%)	36 (19.3%)	31 (11.8%)	54 (20.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	89 (17.5%)	99 (19.5%)
		無記名式	4 (7.3%)	1 (1.8%)	16 (8.6%)	17 (9.1%)	15 (5.7%)	38 (14.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	35 (6.9%)	56 (11.0%)
		記名・無記名の 選択式	6 (10.9%)	1 (1.8%)	17 (9.1%)	9 (4.8%)	11 (4.2%)	13 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	34 (6.7%)	23 (4.5%)
回答 方法	学校で記入	26 (47.3%)	9 (16.4%)	52 (27.8%)	47 (25.1%)	35 (13.4%)	74 (28.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	113 (22.2%)	130 (25.6%)	
	持ち帰って記入	3 (5.5%)	1 (1.8%)	21 (11.2%)	18 (9.6%)	23 (8.8%)	37 (14.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	47 (9.3%)	56 (11.0%)	
個別面談の実施		23 (41.8%)	12 (21.8%)	51 (27.3%)	67 (35.8%)	42 (16.0%)	117 (44.7%)	0 (0.0%)	3 (75.0%)	116 (22.8%)	199 (39.2%)	
「個人ノート」や「生活ノート」といった ような教職員と児童生徒との間で日 常的に行われている日記等		16 (29.1%)	7 (12.7%)	17 (9.1%)	30 (16.0%)	10 (3.8%)	25 (9.5%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	43 (8.5%)	64 (12.6%)	
家庭訪問		2 (3.6%)	0 (0.0%)	3 (1.6%)	4 (2.1%)	1 (0.4%)	2 (0.8%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	6 (1.2%)	7 (1.4%)	
その他		4 (7.3%)	3 (5.5%)	5 (2.7%)	3 (1.6%)	0 (0.0%)	7 (2.7%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	9 (1.8%)	15 (3.0%)	
計		73 (132.7%)	32 (58.2%)	143 (76.5%)	164 (87.7%)	108 (41.2%)	254 (96.9%)	0 (0.0%)	8 (200.0%)	324 (63.8%)	458 (90.2%)	

※回答は複数選択可

※表中の()内は、該当する校数/校種別学校総数×100

(11) いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生件数

(単位:人)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計	
法第28条第1項に規定する「重大事態」が発生した学校数(単位:校)	8	19	13	0	40	
法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)	10	21	15	0	46	
法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)	8	12	8	0	28	
重大な被害の態様	生命	0	3	1	0	4
	身体	0	2	3	0	5
	精神	7	7	4	0	18
	金品等	1	0	0	0	1
調査状況	調査済みの件数	5	10	6	0	21
	うち、調査の結果、いじめが確認されたもの	2	10	6	0	18
	うち、調査の結果、いじめが確認されなかったもの	3	0	0	0	3
	調査中の件数	3	2	2	0	7
法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)	4	13	11	0	28	
調査状況	調査済みの件数	2	12	9	0	23
	うち、調査の結果、いじめが確認されたもの	1	11	7	0	19
	うち、調査の結果、いじめが確認されなかったもの	1	1	2	0	4
	調査中の件数	2	1	2	0	5
法第28条第1項に規定する「重大事態」の調査主体	「重大事態」の発生件数のうち、当該学校が調査主体となった件数(単位:件)	8	21	11	0	40
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)	7	12	6	0	25
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)	2	13	8	0	23
	「重大事態」の発生件数のうち、当該学校の設置者(当該学校以外)が調査主体となった件数(単位:件)	1	0	4	0	5
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)	0	0	2	0	2
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)	1	0	3	0	4
	「重大事態」の発生件数のうち、調査主体を検討中の件数(単位:件)	1	0	0	0	1
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)	1	0	0	0	1
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)	1	0	0	0	1
法第28条第1項に規定する「重大事態」のうち、法第30条第2項及び法第31条第2項に規定する調査の結果について調査(再調査)を行った件数	地方公共団体の長等において調査の結果について調査(再調査)を行った件数(単位:件)	0	0	0	0	0
	法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)	0	0	0	0	0
	法第28条第1項第2号に規定する「重大事態」の発生件数(単位:件)	0	0	0	0	0

※法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」、同項第2号に規定する「重大事態」は「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。」である。

※「重大な被害の態様」については、最も重大と考えられるものを回答。

※いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号及び同第2号の両方に該当する場合は、それぞれの項目に回答。

3 私立小学校及び中学校における長期欠席の状況

(1) 長期欠席の状況

(単位:人)

項目	校種		
	小学校	中学校	計
病気	198 (43.1%)	885 (27.8%)	1,083 (29.7%)
経済的理由	0 (0.0%)	1 (0.0%)	1 (0.0%)
不登校	189 (41.2%)	2,193 (68.9%)	2,382 (65.4%)
その他	72 (15.7%)	104 (3.3%)	176 (4.8%)
計	459 (100.0%)	3,183 (100.0%)	3,642 (100.0%)

※表中の()内は、該当する児童生徒数/長期欠席者数×100

(2) 学年別長期欠席理由

(単位:人)

校種	理由 学年	病気	経済的理由	不登校				その他	合計	
				うち50日 以上欠席 している	うち、90日 以上欠席 している	うち、出席 日数が10 日以下	うち、出席 日数が0日			
小学校	1年	21	0	7	4	4	1	0	2	30
	2年	21	0	16	8	3	0	0	3	40
	3年	22	0	23	15	3	0	0	6	51
	4年	39	0	38	24	14	0	0	12	89
	5年	34	0	42	34	17	2	0	5	81
	6年	61	0	63	44	24	4	0	44	168
	計	198	0	189	129	65	7	0	72	459
中学校	1年	264	0	573	453	287	32	9	12	849
	2年	322	1	784	621	464	90	28	21	1,128
	3年	299	0	836	649	460	103	33	71	1,206
	計	885	1	2,193	1,723	1,211	225	70	104	3,183
合計		1,083	1	2,382	1,852	1,276	232	70	176	3,642

(3) 不登校児童生徒について把握した事実

学校種	区分	事実													
		いじめの被害の情報や相談があった	いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談があった	教職員との関係をめぐる問題の情報や相談があった	授業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた	学校の決まり等に関する相談があった	転編入学、進級時の不適応による相談があった	家庭生活の変化に関する情報や相談があった	親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった	生活リズムの不調に関する相談があった	あそび、非行に関する情報や相談があった	学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった	不安・抑うつ等の相談があった	育的支援の求めや相談があった	障害(疑い含む)に起因する特別な教育の求めや相談があった
小学校		9	40	14	25	6	22	17	39	59	2	58	67	10	40
中学校		36	226	43	465	25	168	112	252	793	17	619	499	117	98
計		45	266	57	490	31	190	129	291	852	19	677	566	127	138

※回答は複数選択可

(4) 不登校児童生徒への指導結果状況

(単位:人)

項目	小学校		中学校	
	人数	前年度	人数	前年度
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	58 (30.7%)	(57) (28.4%)	457 (20.8%)	(476) (23.3%)
指導中の児童生徒	131 (69.3%)	(144) (71.6%)	1,736 (79.2%)	(1,570) (76.7%)
計	189 (100.0%)	(201) (100.0%)	2,193 (100.0%)	(2,046) (100.0%)

※表中の右欄()内は前年度数値

※表中の()内は、該当する児童生徒数/不登校児童生徒数×100

(5) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	校種	小学校		中学校			
		*1	*2	*1	*2		
学校外	① 教育支援センター(適応指導教室)	8 (4.2%)	4	2	77 (3.5%)	55	44
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	4 (2.1%)	4	1	29 (1.3%)	21	18
	③ 児童相談所、福祉事務所	5 (2.6%)	2	2	66 (3.0%)	40	26
	④ 保健所、精神保健福祉センター	1 (0.5%)	1	1	12 (0.5%)	5	3
	⑤ 病院、診療所	55 (29.1%)	33	13	610 (27.8%)	481	338
	⑥ 民間団体、民間施設	19 (10.1%)	16	11	91 (4.1%)	79	62
	⑦ 上記以外の機関等	4 (2.1%)	3	3	38 (1.7%)	34	24
	上記①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	108 (57.1%)	74	38	1,332 (60.7%)	1,043	727
学校内	⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	32 (16.9%)	22	11	522 (23.8%)	427	317
	⑨ スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	76 (40.2%)	51	20	992 (45.2%)	792	560
	上記⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	91 (48.1%)	65	38	947 (43.2%)	741	524
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数		67 (35.4%)	47	28	628 (28.6%)	483	348

※回答は複数選択可

※表中の()内は、該当する児童生徒数/不登校児童生徒数×100

※「*1」の欄は、内数として「不登校のうち、50日以上欠席している者」

※「*2」の欄は、内数として「不登校のうち、90日以上欠席している者」

4 私立高等学校における長期欠席の状況

(1) 長期欠席の状況

(単位:人)

項目	課程	全日制	定時制	計
病気		1,200 (37.7%)	1 (11.1%)	1,201 (37.6%)
経済的理由		11 (0.3%)	0 (0.0%)	11 (0.3%)
不登校		1,842 (57.9%)	8 (88.9%)	1,850 (58.0%)
その他		130 (4.1%)	0 (0.0%)	130 (4.1%)
計		3,183 (100.0%)	9 (100.0%)	3,192 (100.0%)

※表中の()内は、該当する生徒数/長期欠席者数×100

(2) 学年別長期欠席理由

(単位:人)

課程	理由 学年	病気	経済的 理由	不登校	中退	原級留置	うち、50日 以上欠席 している	うち、90日 以上欠席 している	うち、出席 日数が10 日以下	うち、出席 日数が0日	その他	合計
全 日 制	1年	334	7	698	208	40	317	76	11	1	35	1,074
	2年	402	2	603	157	20	259	65	5	1	42	1,049
	3年	464	2	541	39	4	160	29	3	2	53	1,060
	単位制	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1,200	11	1,842	404	64	736	170	19	4	130	3,183
定 時 制	1年	1	0	3	2	0	0	0	0	0	0	4
	2年	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	3年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単位制	0	0	4	1	0	1	1	0	0	0	4
	計	1	0	8	4	0	2	1	0	0	0	9
合計		1,201	11	1,850	408	64	738	171	19	4	130	3,192

(3) 不登校生徒について把握した事実

学校種	区分	個別の配慮(障害に起因するものを除く)についての求めや相談があった													
		いじめの被害の 情報や相談があ った	いじめ被害を 除く友人関係 をめぐると 問題の情報 や相談があ った	教職員との 関係をめぐ ると問題の 情報や 相談があ った	授業の不振 や頻繁な宿 題の未提出 が見られ た	学校のきまり 等に関する 相談があ った	転編入学、 進級時の不 適応による 相談があ った	家庭生活の 変化に関する 情報や 相談があ った	親子の関わり 方に関する 問題の 情報や 相談があ った	生活リズムの 不調に関する 相談があ った	あそび、非 行に関する 情報や 相談があ った	学校生活に 対してやる 気が出ない 等の 相談があ った	不安・抑 うつ等の 相談があ った	障害(疑い 含む)に 起因する 特別な 教育的 支援の 求めや 相談 があ った	く(別の 配慮に 起因す るもの を除 く)
全日制		14	187	21	423	57	161	138	153	699	25	477	443	32	22
定時制		0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	5	4	0	0
計		14	187	21	423	57	162	138	153	700	25	482	447	32	22

※回答は複数選択可

(4) 不登校生徒への指導結果状況

(単位:人)

項目	課程		定時制	
	全日制			
指導の結果登校する又はできるようになった生徒	890 (48.3%)	(665) (41.0%)	6 (75.0%)	*** ***
指導中の生徒	952 (51.7%)	(955) (59.0%)	2 (25.0%)	*** ***
計	1,842 (100.0%)	(1,620) (100.0%)	8 (100.0%)	*** ***

※表中の右欄()内は前年度数値

※表中の()内は、該当する生徒数/不登校生徒数×100

※個々の調査対象に関する事項が特定又は類推され得る部分は、秘匿処理を行っている

(5) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	校種	全日制		定時制			
		*1	*2	*1	*2		
学校外	① 教育支援センター(適応指導教室)	3 (0.2%)	1	0	0	0	
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	3 (0.2%)	1	0	0	0	
	③ 児童相談所、福祉事務所	29 (1.6%)	11	3	0	0	
	④ 保健所、精神保健福祉センター	25 (1.4%)	2	0	0	0	
	⑤ 病院、診療所	520 (28.2%)	259	84	0	0	
	⑥ 民間団体、民間施設	5 (0.3%)	5	1	0	0	
	⑦ 上記以外の機関等	19 (1.0%)	12	1	0	0	
	上記①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	938 (50.9%)	329	57	4 (50.0%)	1	0
	不明	317 (17.2%)	125	25	4 (50.0%)	1	1
学校内	⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	433 (23.5%)	181	38	0 (0.0%)	0	0
	⑨ スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	664 (36.0%)	330	82	0 (0.0%)	0	0
	上記⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	951 (51.6%)	331	76	8 (100.0%)	2	1
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	565 (30.7%)	155	36	4 (50.0%)	1	0	

※回答は複数選択可

※表中の()内は、該当する生徒数/不登校生徒数×100

※「*1」の欄は、内数として「不登校のうち、50日以上欠席している者」

※「*2」の欄は、内数として「不登校のうち、90日以上欠席している者」

5 私立高等学校における中途退学者数等の状況

(1) 退学者数

(単位:人)

学科等		普通科	専門学科	定時制	通信制	合計
学年						
1年	生徒数	57,965	1,506	175	935	60,581
	退学者数	1,409	81	5	36	1,531
	退学率	2.4%	5.4%	2.9%	3.9%	2.5%
2年	生徒数	55,944	1,567	165	861	58,537
	退学者数	1,026	55	1	27	1,109
	退学率	1.8%	3.5%	0.6%	3.1%	1.9%
3年	生徒数	52,987	1,611	179	950	55,727
	退学者数	267	10	1	9	287
	退学率	0.5%	0.6%	0.6%	0.9%	0.5%
単位制	生徒数	—	—	574	6,634	7,208
	退学者数	—	—	9	149	158
	退学率	—	—	1.6%	2.2%	2.2%
計	生徒数	166,896 (165,435)	4,684 (5,285)	1,093 (1,126)	9,380 (8,867)	182,053
	退学者数	2,702 (2,499)	146 (125)	16 (11)	221 (364)	3,085
	退学率	1.6% (1.5%)	3.1% (2.4%)	1.5% (1.0%)	2.4% (4.1%)	1.7%

※生徒数は令和5年4月1日現在

※表中の()内は前年度数値

(2) 退学者の理由別・学年別内訳

【全日制】

(単位:人)

理由	普通科				専門学科				計			
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
学業不振	90 (6.4%)	64 (6.2%)	17 (6.4%)	171 (6.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	90 (6.0%)	64 (5.9%)	17 (6.1%)	171 (6.0%)
学校生活・学業不適應	296 (21.0%)	208 (20.3%)	56 (21.0%)	560 (20.7%)	15 (18.5%)	12 (21.8%)	3 (30.0%)	30 (20.5%)	311 (20.9%)	220 (20.4%)	59 (21.3%)	590 (20.7%)
進路変更	896 (63.6%)	650 (63.4%)	146 (54.7%)	1,692 (62.6%)	63 (77.8%)	42 (76.4%)	7 (70.0%)	112 (76.7%)	959 (64.4%)	692 (64.0%)	153 (55.2%)	1,804 (63.3%)
病気・けが・死亡	50 (3.5%)	41 (4.0%)	26 (9.7%)	117 (4.3%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	51 (3.4%)	41 (3.8%)	26 (9.4%)	118 (4.1%)
経済的理由	6 (0.4%)	2 (0.2%)	2 (0.7%)	10 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (0.4%)	2 (0.2%)	2 (0.7%)	10 (0.4%)
家庭の事情	39 (2.8%)	24 (2.3%)	2 (0.7%)	65 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	39 (2.6%)	24 (2.2%)	2 (0.7%)	65 (2.3%)
問題行動等	24 (1.7%)	24 (2.3%)	12 (4.5%)	60 (2.2%)	2 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.4%)	26 (1.7%)	24 (2.2%)	12 (4.3%)	62 (2.2%)
その他	8 (0.6%)	13 (1.3%)	6 (2.2%)	27 (1.0%)	0 (0.0%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)	1 (0.7%)	8 (0.5%)	14 (1.3%)	6 (2.2%)	28 (1.0%)
計	1,409 (52.1%)	1,026 (38.0%)	267 (9.9%)	2,702 (100.0%)	81 (55.5%)	55 (37.7%)	10 (6.8%)	146 (100.0%)	1,490 (52.3%)	1,081 (38.0%)	277 (9.7%)	2,848 (100.0%)
生徒数	57,965	55,944	52,987	166,896	1,506	1,567	1,611	4,684	59,471	57,511	54,598	171,580
退学率	2.4%	1.8%	0.5%	1.6%	5.4%	3.5%	0.6%	3.1%	2.5%	1.9%	0.5%	1.7%

※退学者一人につき主たる理由を一つ選択したもの。

※表中の()内は、該当する生徒数/退学者数×100

(2) 退学者の理由別・学年別内訳 (続き)

【定時制/通信制】

(単位:人)

理由	定時制					通信制					計				
	1年	2年	3年	単位制	計	1年	2年	3年	単位制	計	1年	2年	3年	単位制	計
学業不振	0 (0.0%)	*** ***	*** ***	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (11.1%)	1 (3.7%)	3 (33.3%)	6 (4.0%)	14 (6.3%)	4 (9.8%)	*** ***	*** ***	6 (3.8%)	10 (4.2%)
学校生活・学業不適応	2 (40.0%)	*** ***	*** ***	3 (33.3%)	5 (31.3%)	16 (44.4%)	16 (59.3%)	1 (11.1%)	41 (27.5%)	74 (33.5%)	18 (43.9%)	*** ***	*** ***	44 (27.8%)	62 (26.2%)
進路変更	3 (60.0%)	*** ***	*** ***	6 (66.7%)	9 (56.3%)	12 (33.3%)	5 (18.5%)	2 (22.2%)	55 (36.9%)	74 (33.5%)	15 (36.6%)	*** ***	*** ***	61 (38.6%)	76 (32.1%)
病気・けが・死亡	0 (0.0%)	*** ***	*** ***	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (11.1%)	4 (14.8%)	3 (33.3%)	29 (19.5%)	40 (18.1%)	4 (9.8%)	*** ***	*** ***	29 (18.4%)	33 (13.9%)
経済的理由	0 (0.0%)	*** ***	*** ***	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.7%)	0 (0.0%)	5 (3.4%)	6 (2.7%)	0 (0.0%)	*** ***	*** ***	5 (3.2%)	5 (2.1%)
家庭の事情	0 (0.0%)	*** ***	*** ***	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.0%)	3 (1.4%)	0 (0.0%)	*** ***	*** ***	3 (1.9%)	3 (1.3%)
問題行動等	0 (0.0%)	*** ***	*** ***	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (4.7%)	7 (3.2%)	0 (0.0%)	*** ***	*** ***	7 (4.4%)	7 (3.0%)
その他	0 (0.0%)	*** ***	*** ***	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.0%)	3 (1.4%)	0 (0.0%)	*** ***	*** ***	3 (1.9%)	3 (1.3%)
計	5 (31.3%)	1 (6.3%)	1 (6.3%)	9 (56.3%)	16 (100.0%)	36 (16.3%)	27 (12.2%)	9 (4.1%)	149 (67.4%)	221 (100.0%)	41 (17.3%)	28 (11.8%)	10 (4.2%)	158 (66.7%)	237 (100.0%)
生徒数	175	165	179	574	1,093	935	861	950	6,634	9,380	1,110	1,026	1,129	7,208	10,473
退学率	2.9%	0.6%	0.6%	1.6%	1.5%	3.9%	3.1%	0.9%	2.2%	2.4%	3.7%	2.7%	0.9%	2.2%	2.3%

※退学者一人につき主たる理由を一つ選択したものを。

※表中の()内は、該当する生徒数/退学者数×100

※個々の調査対象に関する事項が特定又は類推され得る部分は、秘匿処理を行っている

※表中の各縦計欄は、秘匿処理を行ったものを除いた合計

(3) 原級留置者の状況

(単位:人)

学年	学科等	普通科	専門学科	定時制	通信制	合計
		生徒数	57,965	1,506	175	935
1年	原級留置者数	93	2	0	0	95
	原級留置率	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%
	生徒数	55,944	1,567	165	861	58,537
2年	原級留置者数	74	2	0	0	76
	原級留置率	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
	生徒数	52,987	1,611	179	950	55,727
3年	原級留置者数	27	1	0	0	28
	原級留置率	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
	生徒数	—	—	574	6,634	7,208
単位制	原級留置者数	—	—	0	314	314
	原級留置率	—	—	0.0%	4.7%	4.4%
	計	生徒数 166,896 (165,435)	4,684 (5,285)	1,093 (1,126)	9,380 (8,867)	182,053
	原級留置者数 194 (165)	5 (5)	0 (1)	314 (305)	513	
	原級留置率 0.1% (0.1%)	0.1% (0.1%)	0.0% (0.1%)	3.3% (3.4%)	0.3%	

※生徒数は令和5年4月1日現在

※表中の()内は前年度数値

6 私立小学校、中学校及び高等学校における自殺の状況

校種	人数
小学校	2
中学校	1
高等学校	11
計	14